平成30年　菊陽町・菊池郡

消防操法大会

菊陽町消防団消防操法大会が7月15日、菊池郡消防操法大会が29日に菊陽町民グラウンドで開催されました。

町大会には、町内の各分団から25チームが出場。日々の訓練の成果を発揮し、放水動作の技術や規律を競い合いました。

郡大会には、菊陽町と大津町でそれぞれ上位5位に入賞したチームが出場。本町の第４分団第４班（馬場）が見事優勝し、9月に山鹿市で開催される県大会に出場します。各大会での成績は以下のとおりです。

1 郡大会で優勝した第４分団第４班の皆さん　2－5 訓練の成果を発揮し機敏に行動　6 大津町消防団によるポンプ車操法の披露　7 指揮者の力強い指揮が会場に響き渡った　8，10 ホースをしっかり抱えて火点目がけて放水　9 優勝チームには優勝旗と金メダル、賞状が手渡された

菊陽町消防団消防操法大会

■団体の部

❶本部機動隊
❷第４分団第３班（新町）
❸第５分団第１班（柳水）
❹第４分団第４班（馬場）
❺第５分団第２班（入道水）

■操作員の部

指揮者　渡邉　千博（鉄砲小路）
1番員　山川　啓太（道明）
2番員　渡邉　亮太（馬場）
3番員　西川　和将（入道水）

菊池郡消防操法大会

❶第４分団第４班（馬場）
❸本部機動隊
❹第４分団第３班（新町）
❻第５分団第２班（入道水）
❼第５分団第１班（柳水）
※菊陽町の出場チームのみ記載

災害に強い町づくり

防災士養成講座を開催します

町では、地域の防災リーダーとなる人材を養成するため、菊池市・合志市・菊陽町合同による『防災士養成講座』を開催します。

問 総務課　交通防災係　☎（232）2111

防災士とは

平成28年4月の熊本地震や昨年7月の九州北部豪雨、本年7月には、西日本豪雨が発生するなど、私たちはいつどこで大規模な災害に遭遇するか分かりません。防災士は、これら災害に関する一定の知識・技能を修得することでNPO法人日本防災士機構が認証する資格で、災害時に役立つ資格です。

■日時　12月1日㈯、2日㈰、9日㈰の3日間

■場所　菊陽町図書館ホール

■受講資格

菊陽町に居住または勤務する人で、積極的に地域の防災活動や町が実施する防災に関する施策などに協力する意欲がある人

■定員　30人

■料金　教本代3千円、防災士認証受験料3千円、防災士認証登録料5千円

※一定の条件を満たす場合は、全額補助します。

■申込方法　総務課または町ホームページにある申込書に必要事項を記入し、総務課交通防災係に提出

■申込期限　10月19日㈮

■その他　防災士になるには、受講終了後に日本防災士機構による防災士認証試験を受験する必要があります。また、消防署などが実施する救命救急の実技講習の履修が必要です。

平成29年度防災士養成講座（３市町合同）

菊陽町防災士連絡協議会活動

防災士の資格を取り一緒に活動しませんか

平成29年12月19日に菊陽町防災士連絡協議会が発足しました。現在、会員29人で活動しています。地区別の会員数については、左表のとおりです。

地区別会員数（29人）

地区	人数	地区	人数
杉並台	4	光の森１町内	1
新成	3	光の森５町内	1
あさひヶ丘	3	北新山	1
東ヶ丘	2	青葉台	1
ひばりヶ丘	2	花立	1
下原	2	沖野	1
武蔵ヶ丘２町内	2	下津久礼	1
武蔵ヶ丘１町内	1	戸次	1
武蔵ヶ丘８町内	1	中代	1

活動状況

・町歩き活動（5月）

一部が土砂災害特別警戒区域になっている戸次地区を地域住民の協力を得て視察しました。危険箇所や避難経路などを歩いて見て回ることで、防災士として活動する上で重要な知識を得る機会となりました。

・防災講話（6月）

各地で防災講話をされている小池洋恵さんによる講話を行いました。会員以外にも各地区の区長など多くの人が聴講しました。

町歩き活動の様子

防災講話の様子